水田再編対策
目標達成にご協力を
今年の転作目標 178.5ha

転作で作付された大麦

集団転作で対応を

転作目標面積が大幅に強化・拡大された第二期水田利用再編対策事業は、今年で二年目になります。

村は、水田利用再編対策協議会等で昭和五十七年度事業の対応策について検討を行ない、二月二十二日農家組合長会議で、その基本方針を提示し、農家に転作への理解と協力を要請しました。

（表1.）国の転作奨励補助金

	特定作物	永年性作物	野菜を除く一般作物等	野菜
10a当り転作奨励補助金	56,000円	56,000円	41,000円	36,000円
10a当り計画加算金	7,200	7,200	5,500	5,500
10a当り団地化加算金	10,000	10,000	7,500	7,500

注：転作率が16～18%の場合として推計したものです。
地域振興作物　スイートコーンの場合は　10a当り 5,000円を限度として補助金に加算

それによると、横越村の昭和五十七年度転作割当目標面積は、一七八・五haでこれが各農家に一律配分され、そのほか七・一haがいわゆる積残分で、前年度の未達成農家に配分されます。

一方、五十七年産米の売渡し限度数量は、うるち米が前年度より三九俵（60kg入）少ない六七、七七六俵、もち米は一、四三〇俵で三一俵少なくなっています。

このような中で、村は農業所得の向上につながる転作を進めていくために、前年度と同様、地域ぐるみの計画転作の推進を基本に、次のような方策を定めています。

(1)国の計画加算制度や団地化加算（連担団地）の対象となる集団転作の推進。（表1.）

(2)転作の定着化、集団転作育成村単助成

㋐農家組合転作推進事業——各農家組合で転作をいかに行なうかの相談経費として、農家組合割ち、農家戸数割ち助成。

㋑転作割当目標達成農家組合推進事業——割当面積を限度に10a当り千円助成

㋒集団転作推進事業（表2.）

㋓集落毎の互助制度推進事業——互助制度を積極的に取り組んだ結果、目標面積を上まわり拠出金に不足が生じた場合10a当り五万円を限度に助成。

これに対して農家組合長から「未達成農家の積残分七・一haを一律配分すると10aに対し7m²の負担増になり、その村助成を」などの意見が出されましたが、村としては現在行なわれている土地改良事業はすべて水田再編がらみの中で実施され、排水対策事業に対し、事業費の5%の助成も行なっているなど、直接個人には入っていないものの事業関連で相当な助成も行なっておりもっと広い視野に立っての理解を願いたい旨お願いし、基本方針についてやむを得ないとして了承され、各農家へ仮配分を行ないました。

村は「農業者自身、大変厳しい状況にあることはよく理解できるものの、土地改良事業の実施地区及び計画されているところは目標達成が絶対条件であり各農家の協力がないとむずかしい。現実は非常に厳しい状況にあることも事実……」として、三月一日から更に農家に対する地区説明会を開き、一〇〇%達成に向けて協力要請することにしています。

（表2.）集団転作推進事業

団地の規模	基準額
0.5ha ～ 1.0ha	25,000円
（以下0.5ha増すごと25,000円加算）	～
～	
3.6ha ～ 4.0ha	175,000円
4.1ha ～ 5.0ha	200,000円
（以下1ha増すごと10,000円加算）	～

①集落全体としての転作等実施面積がその集落農業者の転作等目標面積の合計を上回っていること。

②集団による転作等実施面積の合計の2分の1以上が水の条件や機械の運行等を勘案して面積で1ha以上（この場合は団地の数はいくつでもよい）か又は数でいって2個以内（この場合は団地の規模については特に条件はない）の地縁的なまとまりに団地化されていること。

（数集落合体した集団転作の場合は、団地数は2にその集落数を乗じて得た個数まで認められる）

③交付基準は①～②要件が条件であり集落の団地化された総面積の基準で交付する。

集団転作の集落範囲の取り方については、原則として農家組合単位を最小限として、それ以上の規模とする。

◎◎◎国民年金保険料◎◎◎
忘れてませんか
遅れても3月末まで納入を

昭和五十六年四月から昭和五十七年三月までの国民年金保険料の納め忘れはありませんでしょうか。納め忘れが重なって、それが長期間になりますと、将来、老齢年金が受けられないことになりかねません。

まだ納めていない方は、遅くても三月三十一日まで納めるようにしてください。また保険料を納め忘れていますと交通事故などで障害者となったときの障害年金や、不幸にしてご主人を亡くしたときの母子年金が受けられないことにもなります。

国民年金は、あなたの大事な年金です。年金権を失なわないためにも保険料は、決められた期限までにキチンと掛けるようにしましょう。

《激変した産業構造》
第3次産業がトップ
——55、国調結果発表——
人口 八、五八六人に

このほど総理府統計局から昭和五十五年国勢調査の第一次基本集計結果が公表されました。

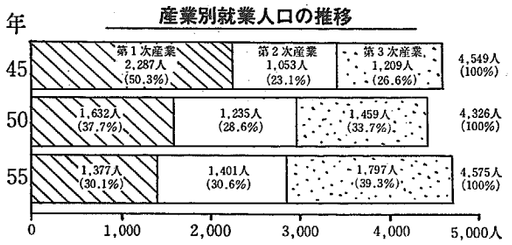
公表された内容は、人口増減、年令別人口、労働力人口産業別就業者などで、総人口では八、五八五人の概数が一名増え八、五八六人となり、昭和五十年調査より四六五人増加しました。

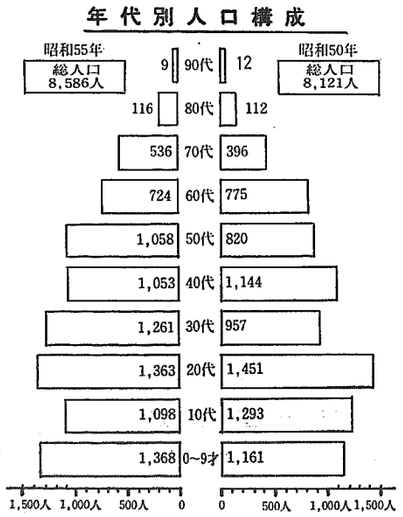
村の人口は、昭和二十五年の九、六七八人をピークに毎回三一〇人前後減り続けてきましたが、今度三十年ぶりに増加したものです。

年令別人口は、年代別にみると零才から九才が一、三六八人と一番多く、次いで二十代一、三六三人、三十代一、二六一人と続き、働き盛りが中心の人口構成となっています。

産業別就業者では、常時一位を独占していた第一次産業（農林漁業等）が三位になりトップに第三次産業（サービス、卸小売業等）が躍り出ました。昭和四十年代に入ってからしだいに工業化時代をむかえ、高度経済成長へと進むとともに都市化現象も伴ない産業構造は激変をたどっています。

グラフでみてみますと、十年前（45年）は、第一次産業は五十%であったものが、二十%も減少し、相対的に第二次及び第三次産業へ流れたことがうかがわれ、田園型農村から都市近郊型へクッキリしてきました。





横式抗

春の息吹きをいち早く感じてか蕗のとうの芽を見つけた。いよいよ卒業式のシーズンである。卒業生をお持ちの御家庭では特に入学式とは異なった緊張感をもつ。進学に、就職にと、吾が子、吾が孫に対して期待をし、本人も又、未来に対して夢と希望の胸をふくらましながらチョッピリ不安も感じている。特に就職となるとなおの事である。そこで、今度実社会に飛び込む社会人一年生に対して、小生の好きな言葉の中の一つを贈りたいと思う。〝潜行密用如愚如魯〟その意味は、潜かに行ない他に分らない様に用いる事と云っても完全犯罪の事ではなく、毎日の言動に自分の本分を良く守り、目だたぬ様にする事で、愚も魯も、共に愚かという事で、一見愚かな様に見えても大地の塩の様な働らきはどの社会にも大切であり、誰がやったか分らぬ様にささやかな事でも人のすべき事なら、キチンとしておき売名や、利欲の為でなく、唯「行なう」事である。

誰も見ていない所でベストを尽くす。精一杯するという事は容易な事ではないが、しかし、それが出来てこそ、真実に他を愛し、人生を愛し、自分を愛する事になると思う

そして、それを更に継続する事によって意味があるのです。とかく、職場の事で偉くなった様に感違いをしている人もいる様だし、又、実社会に於いて、俺が俺がと何かにつけてイバリタガル人や、他人の迷惑等考えないで自分の利欲のみを考えている人もいる様だが、これも人間の業であろうか？。

実社会に巣立つ皆さん、職業には貴賤はなく、貴賤のあるのは人である。という事を胸に、自分の職業に誇りを持ち、職場に於いて他人にバカといわれても心に信念を持ち飽かずに貫ぬき通せば、必らず人中の人と呼ばれる。〝真の勇気とは、人に勝たず己れに克つのだ〟と思う。（山崎）

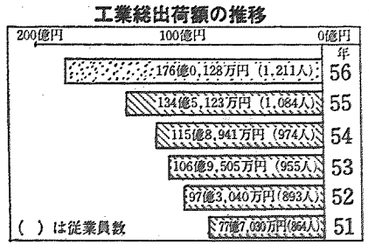
〝潜行密用〟

56年 工業出荷額
一七六億円に 31%増

毎年十二月末現在で調査している工業統計の概要の一部がまとまりました。

この調査は、国や県、市町村の工業の実態をはあくし、国や地方の経済政策・産業政策の企画立案などに役立てられるほか、製造業などの消長をみることができます。

昭和五十六年の村の工業出荷総額は、一七六億一二八万円で前年と比べ三〇・九パーセント、四一億五、〇〇五万円増え大幅な伸びを示しました。事業所数は五事業所増加して三十三事業所に、従業員数では一二七人（一一・七パーセント）増えて一、二一一人に達しました。

昭和五十六年が特に伸びた要因には、従業者百人以上の企業が進出したことと、各企業とも製造活動が順調だったことがうかがわれます。

昭和五十一年から本村の工業出荷額をみると、この六年間で九八億三、一〇〇万円（二二七パーセント）、従業員でも三四七人（四〇・二パーセント）増加しており、地域における雇用の促進、経済的効果は大きくなっています。